





# **Corporate Presentation**

2024年3月期

# 決算説明資料

Code:2654





商号

#### ~活力ある企業風土を育成する~

## 株式会社アスモ

**ASMO CORPORATION** 

企業概要

2024年3月末現在

事業方針

超高齢化社会を迎える日本において、多方面から必要とされる企業を目指して各事業の「ストロングポイント」を的確に見極め

「事業間のシナジー」を最大限に発揮し、社会発展に貢献します。

1975年4月26日(3月決算) 23億2.327万円

15.145.175株(自己株式 1.680.693株)

代表取締役主要株主

代表取締役社長 長井 尊(2012年10月就任)

※(株)Persons Bridge 60.9% 長井カズヱ 8.0% (株)ペストライフ神奈川 2.1% (株)ペストライフ埼玉 2.0%

(株)ベストライフ東京1.9% (株)ベストライフ西日本1.9% (株)ベストライフ東日本 1.8% (株)ベストライフ中部 1.4%

収益 セグメント

- ■食肉卸売事業 (1食肉の輸入2食肉、食肉加工品の販売)
- ■給食事業 (高齢者介護施設等における給食の提供)
- ■介護事業(①訪問、居宅介護事業所の運営②有料老人ホームの運営)
- ■香港事業 (香港における①外食店舗の運営②食品加工販売)
- ■その他(グループ会社の統制・管理、不動産賃貸)

連結子会社本 社連結従業員

**7社** ※詳細は P2をご参照

【本社】東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階

|1,513名【前年同期比 51名減】

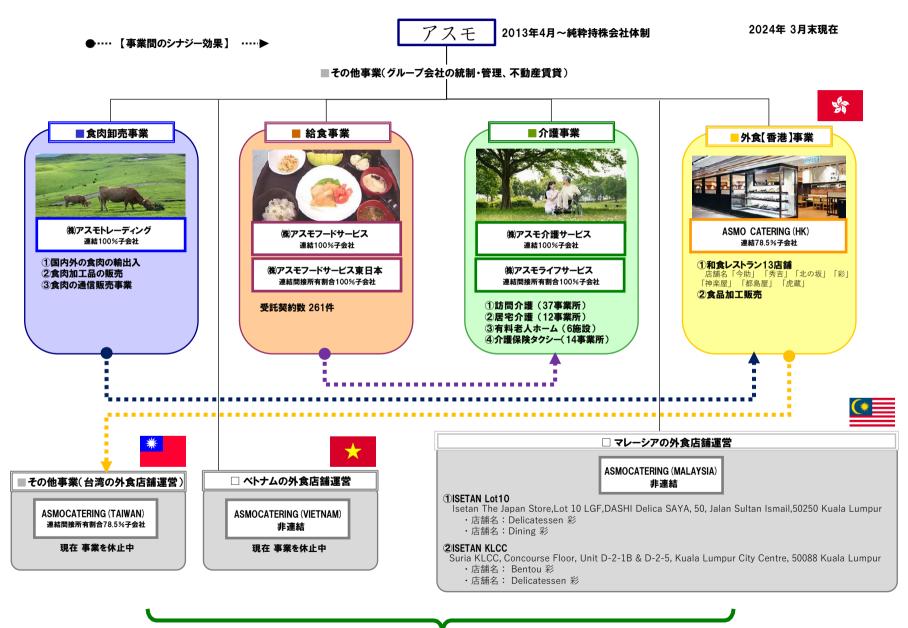
本社14名 食肉卸売事業14名 給食事業516名 介護事業848名 外食事業121名

主要取引先

株)ベストライフグループ、CARNES SELECTAS、 丸大フード株)、株)上原ミート、株)ハーモニック、各種の医療機関 / 社員食堂 等



#### I. ビジネスモデル【収益構造モデル】



各事業の "ストロングポイント"を的確に見極め、"各事業間のシナジー"を最大限に発揮



#### II. 経営指標【 2024年3月期 決算報告-1 Summary 】

2024年3月期 前年同期比較

売上高: 4.1%成長 20,533百万円 [前年同期 19,723百万円]

**営業利益**: 82.1%成長 606百万円 【前年同期 333百万円】

当期利益: 129.8%成長 469百万円 【前年同期 204百万円】

#### 24年3月期 セグメント別売上高

単位:百万円(切り捨て)	23/3期	24/3期	前年 同期比
■食肉卸売事業	4,196	4,443	5.8%
■給食事業	7,532	7,883	4.6%
■介護事業	5,513	5,691	3.2%
■香港事業	2,476	2,509	1.3%
売上高 (全体)	19,723	20,533	4.1%

#### 24年3月期 セグメント別営業利益率

期末ベース	23/3期	24/3期	増減
■食肉卸売事業	2.7%	1.7%	▲1.0%
■給食事業	3.3%	4.1%	0.8%
■介護事業	3.3%	8.4%	5.1%
■香港店舗事業	▲0.3%	▲2.5%	▲2.2%
営業利益率 (全体)	1.6%	2.9%	1.3%

#### ■卸売実績

コロナが明けた事による国内外食需要の増加 メキシコ産チルド商品の安定的な販売 通信販売事業の継続的な成長

#### ■フード実績

積極的な営業活動で受託施設増により受託施設数増 コロナが明けたことによる高齢者福祉施設への入居者数増 コスト管理・生産性向上による営業収益の確保

#### ■ 介護実績

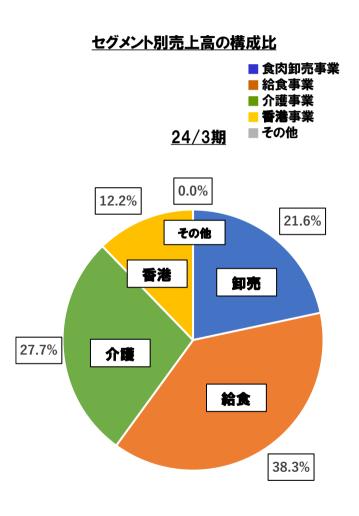
コロナが明けたとこによる入居者様増による収益力向上 人材育成により業務効率が改善した事による人件費における 費用対効果の効果

#### 香港実績

卸売部門に関しては大手寿司チェーン等の日系企業との取引が増大し、保有するセントラルキッチンを活用した売上が外食部門を超え、売上は全体で年間2,509(百万円)確保出来るほどに成長外食事業の業績は苦しい年度となったが、今年度においては改修工事を行い、稼働率を向上させ営業利益58(百万円)を目指す

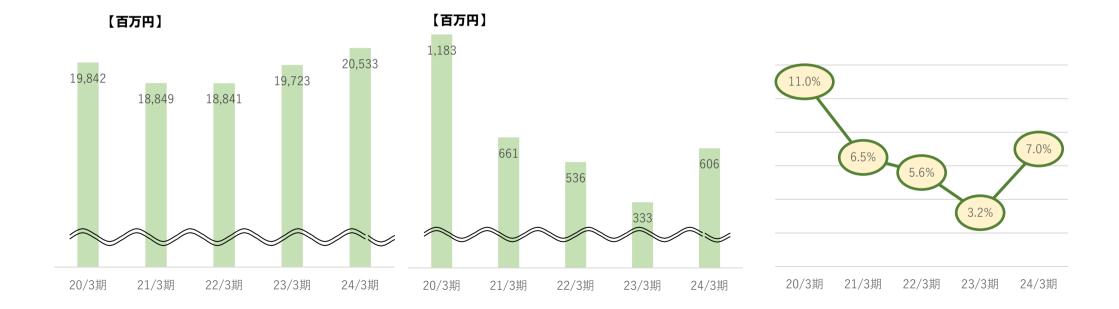


単位:百万円(切り捨て)	23/3期	構成比 (%)	24/3期	<b>構成</b> 比 <b>(%)</b>
■食肉卸売事業	4,196	21.2%	4,443	21.6%
■給食事業	7,532	38.1%	7,883	38.3%
■介護事業	5,513	27.9%	5,691	27.7%
<b>■香港</b> 事業	2,476	12.3%	2,509	12.2%
■その他事業	4	0.0%	4	0.0%
売上高	19,723	100.0%	20,553	100.0%
売上原価	15,989	81.0%	16,529	80.4%
売上総利益	3,733	18.9%	4,003	19.4%
販売管理費	3,400	17.2%	3,397	16.5%
営業利益	333	1.6%	606	2.9%
営業外収益	60	0.3%	69	0.3%
営業外費用	7	0.0%	9	0.0%
経常利益	386	1.9%	666	3.2%
特別利益	44	0.2%	0	0.0%
特別損失	3	0.0%	16	0.0%
税金等調整前当期純利益	426	2.1%	650	3.1%
法人税・住民税及び事業税 法人税調整額・非支配株主損益	219	1.1%	193	0.9%
当期純利益	204	1.0%	469	2.2%







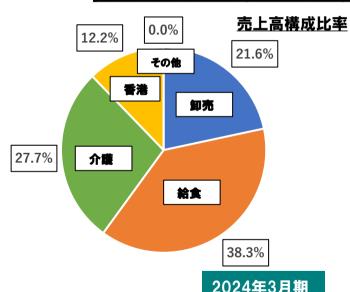




#### Ⅱ. 経営指標【2024年3月期 業績推移-2】

#### 2024年3月期 セグメント別売上高

単位:百万円 (切り捨て)	23/3期	24/3期	前期比
■食肉卸売事業	4,196	4,443	5.8%
■給食事業	7,532	7,883	4.6%
■介護事業	5,513	5,691	3.2%
■香港事業	2,476	2,509	1.3%
■その他事業	4	4	1.0%
売上高 合計	19,723	20,533	4.1%



業績計画 Point

- 24年3月期
- 食肉卸売事業
- 給食事業
- ■介護事業
- 香港事業
- ■その他

単位:百万円 (切り捨て)	23/3期	24/3期	前期比
売上高	19,723	20,533	4.1%
売上原価	15,989	16,529	3.3%
売上総利益	3,733	4,003	7.2%
販売管理費	3,400	3,397	▲0.1%
営業利益	333	606	82.1%
経常利益	386	666	72.7%
当期純利益	204	469	129.8%

EPS(円)	15.1	34.9
ROE(%)	3.2	7.0
1株の配当金(円)	10.0	10.0
【配当性向】	[65.9%]	【28.7%】

#### ■食肉

主力商品のメキシコ産チルド牛肉の安定的な成長 インバウンドで好調な外食産業向けの各種食肉販売 通信販売事業のPB商品の開発及び販路の拡大・売上増

#### ■給食

積極的な営業活動及び官公庁や自治体への入札参加による受託施設増加 食品加工工場のM&A等を模索しケータリング事業への参入を検討 従業員の処遇改善を図り安定的な人材育成を行い業務効率の改善を図る。

#### ■介護

訪問介護者数増加による減算率の軽減を図る。 堅調に推移している入居者数及びご利用者数増加図る。

#### 香港

24年4月に改修工事を行ったセントラルキッチンで、昨年対比で製造能力150%増を可能とし 外食事業における立て直しを図り利益転換を実現する。



## 配当について

株主の皆様の日頃のご支援の感謝の意を表するとともに、当期の業績予想を踏まえ、 2025年3月期の期末配当予想につきましては、全期同様の配当額を維持し、 1株当たり10円00銭を予定しております。

## 株主優待制度新設

#### 1. 目的

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主 様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を導入することといたしました。

## 2. 内容

グループ会社である株式会社アスモトレーディングの商品を贈呈いたします。 2024年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録されている3単元(300株)以上を保有されている 株主様を対象として開始いたします。 贈呈時期:12月上旬より順次発送



## 商品イメージ







商品の情報はこちら アスモマート / TOPページ (mart.asmo-trading.co.jp)

保有株式数	内 容	
300株以上	松阪牛カレーセット(1人前)×1個 松阪牛焼肉缶詰170g × 1個	(3,600円相当分)
500株以上	松阪牛カレーセット(1人前)×3個 松阪牛焼肉缶詰170g × 1個	(6,200円相当分)
1,000株以上	松阪牛カレーセット(1人前)×4個 松阪牛焼肉缶詰170g × 2個 神戸牛焼肉缶詰170g × 2個	(14,600円相当分)



## ■食肉卸売事業

## メキシコ産チルド肉販売における強み

メキシコ産チルド牛肉販売においては円安の影響で輸入牛肉の価格が高騰しており、 従来の商品の代わりになる商品として展示会や商談会等を通じて販売網を構築し、販売を強化して参ります。 メキシコ産ボナプライムブランドの商品は、アメリカ産に引けを取らない高品質でリーズナブルな価格の商品として 既存顧客及び新規顧客に対して販売を強化し市場規模拡大を図ります。

## 通信販売事業の今後の取り組み

通信販売事業においてはお中元やお歳暮などの市場規模が縮小していく中、企業のプレゼントキャンペーン等で銘柄牛を商品とする企業への販売を強化して参ります。 銘柄牛を複数種類取り扱うことで食べ比べなどが出来るPB商品開発等を強化し、 大口案件でも対応できるよう生産工場の確保をM&A等も視野に強化して参ります。 また、個人消費者向けの自社製品の販売やインバウンド消費への対応・WEB販売の強化を図り 商品アイテム数の増加及び売上増加に向けて取り組んで参ります。

## 国内流通食肉事業への方針

好調なインバウンド需要を的確に捉え、販売総数を増加させると共に円安により国産商品と輸入食肉全般の価格差が縮まっている事を好機とし、継続的な販売網を構築して参ります。また、国産商品・輸入商品等の産地等を問わず顧客ニーズに応えるべく、それぞれの顧客に見合った商品の提供を心掛ける営業を行うことで増収増益を図って参ります。





## ■給食事業【介護施設向けが中心】

## 積極的な新規営業活動・地方自治体等への入札参加により受託数増加を図る

アスモフード社が得意とする高齢者福祉施設は、少子高齢化が進む日本において 今後さらに増えると予測され、市場規模はますます膨らみ需要は拡大していくので 地に足付いた営業を行うことで業績拡大を狙います。 今まで参加してこなかった地方自治体などへの入札に参加することにより、 幼稚園や小学校・中学校等の受託数を増やし様々な給食の提供を目指します。

## 職員の処遇改善を図り離職率を改善し選ばれる給食会社を目指す

人手不足が深刻化する日本において、職員から選ばれる会社になるべく職員の処遇を見直す等、離職率を改善いたします。 安定的な雇用の元継続的な教育体制を構築し、業務効率を最大化させ顧客満足度の向上を目指します。

## 食品加工工場のM&A等を模索しケータリング事業等への参入を検討

セントラルキッチン等の新設や食品加工工場を保有する会社のM&A等を行い、 ケータリング事業に参入する事を検討致します。 施設で温めるだけで食事が出来るケータリング形態での新規受託を目指す等、 多様な給食受託形態を構築し様々な給食ニーズにお応え出来るシステム構築を目指します。





#### ~ 活力ある企業風土を育成する~ モチベーション ト昇!

衛生管理体制







上記は洋菓子講習会

#### 受託契約数の推移

エリア	22/3期	23/3期	24/3期	増減
本社	_	_	180	+180
東日本	81	84	80	0
首都圏	50	49	<del>_</del>	-50
中日本	54	57	<del>-</del>	-54
西日本	66	69	_	-66
合計	251	259	261	+10



|給食事業(2024年3月末の受託契約数 261件) 【1】受託契約の見直し

・・・高収益率の施設へ契約をシフト 【2】積極的な人材投資

・・・「信金アップや福利厚生の充実

2023年10月

株式会社アスモフードサービスが株式会社アスモフードサービス首都圏、株式会社アスモフードサービス中日本、株式会社アスモフードサービス西日本を 吸収合併しました。

#### 従業員研修







握り寿司イベント





#### 【フードパントリー支援活動】※イメージ画像

必要としている方に無償で食料を配布。 生存に必要不可欠な「食」を提供することで生活保障の一助となり、フード・ セーフティネットの構築を目指して活動。 月に1~2回程度不定期開催









## 事業活動 Point 2

#### 給食事業

- 【3】子ども応援パントリーへ支援・・・食材の提供による社会貢献の実施 子供の貧困をなくす活動をサポート
- 【4】食の楽しみを提供・・・栄養バランスだけでなく、「食べる喜び(楽しみ)」を イベント食や郷土料理で演出

### 【イベント食写真】



## 【郷土料理写真】





## ■介護事業

## コロナ明けによるニーズの回復

訪問介護事業所のご利用者様を増加させる事により一部介護報酬が減算されておりますが、 事業所の収益改善を図ると共に、全体的なご利用者様の増加を目指します。

## 職員の処遇改善により効率的な人員配置を行い収益力向上

安定的な雇用、人材育成及び効率的な人員配置により収益力向上を図り 継続的な成長を目指します。

## 非収益部門の黒字転換等資本効率の改善

赤字拠点の黒字転換や介護タクシー等の赤字事業の拠点数の見直し等を行うと共に 感染症対策費用などのコスト管理を徹底し、利益の最大化を図ります。

## 自社運営の新規老人ホーム開発

新規老人ホーム開発を積極的に行い、お世話をさせて頂く訪問介護利用者様、ご入居者様の獲得を目指します。 既存老人ホーム等のM&Aなども視野に、積極的な事業展開を図って参ります。

#### 2024年3月末 現在

#### ■介護事業 介護事業所数の推移

期末ベース	23年末	24年末	増減
●訪問介護事業所	35事業所	34事業所	-1
● 居宅介護支援事業所	12事業所	12事業所	_
● 介護タクシー営業所	11営業所	5営業所	-6
介護支援契約者※	1,871名	1,986名	+155

#### ■介護事業 有料老人ホームの推移

期末ベース	23年末	24年末	増減
■有料老人ホーム施設	7施設	7施設	_
入居者数 (入居率)	330名 (76.2%)	377名 (87.0%)	+47

#### 自社で運営する有料老人ホーム

2014年10月~ (千葉市) ■ ①ベストライフ都賀 78室



2015年4月~(船橋市) ■2ベストライフ船橋薬園台 87室



2015年8月~(川口市)

■3ベストライフ鳩ヶ谷※ 52室



※上記施設は2017年3月から 介護付き有料老人ホームとして営業開始。

2016年10月~ (横浜市) ■ ④ ベストライフ金沢文庫 II 45室



2017年4月~ (東京都) ■ ⑤ベストライフ三鷹 64室



2017年6月~ (大阪府) ■ 6ベストライフ豊中 60室



2022年5月~ (東京都) ■⑦ベストライフー橋学園 47室



<sup>※</sup> 介護タクシー利用者は除く



## **\_\_香港事業**

## 自社セントラルキッチンを活用した卸売り事業の収益力強化

大手寿司チェーン等の日系企業との取引を積極的に展開し、 売上高昨対比1.3%(営業損失▲65(百万円))となりました。 24年4月にはセントラルキッチン機能を約1億円の費用を投じた改修工事を行い、 稼働率を向上させたことによる更なる売上向上及び収益強化を目指して参ります。

## 苦しい外食事業の収益改善

香港民主化運動から始まりコロナ禍を経て、苦しい外食事業ではありますが 赤字店舗の今期中の撤退や黒字店舗の利益最大化を図ることにより 当期営業利益は58(百万円)を目指し、収益改善を図って参ります。

## 卸売り事業と外食事業の収益バランスを図りながら新規出店を図る

安定的に利益を計上している卸売り事業を更に成長させながら、外食事業における新規出店を模索し両事業での収益最大化を図って参ります。

## 香港以外での外食事業の展開

マレーシアで展開している惣菜店舗「彩」の新規出店や、別業態で出店を模索いたします。 ベトナム等東南アジアでの外食事業のチャンスを模索し、2~3年の間に外食店舗数を 10店舗程度を運営出来る様、積極的な事業展開を行って参ります。



## 香港で自社キッチンを保有している強みを活用!







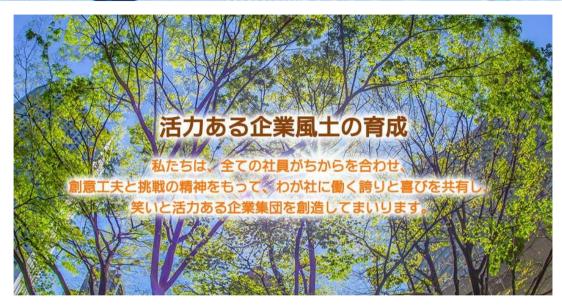
## 香港で豊富な日本料理ジャンルをご提供できるトップクラス企業

- 【1】1985年5月から香港の現地法人が、外食店舗事業を継続中。高い信用力
- 【2】香港で自社システムキッチンを活用した、食品加工販売事業が成長中
- 【3】日系企業のため、現地企業に比べて日本食材の確保において優位性がある

#### 2024年3月末 現在

				2024年3月末 玩任
メニュー	天麩羅・鮨・うどん	うどん・すき焼き	和惣菜	パスタ・オムレツ
店舗名	銀座神楽室	今到。		Crip Professional Kode Kitanoz ana
店舗数	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗
メニュー	お好み焼き・たこ焼き	お好み焼き・たこ焼き	ラーメン・カツ丼・カレー	
店舗名	<b>医主席                                    </b>	都島屋 MIYAKOJIMA-YA	元祖にといる。和風食堂といる。	
店舗数	5店舗	1店舗	3店舗(ロードサイド店舗)	





各事業の"ストロングポイント"を的確に見極め、"各事業間のシナジー"を最大限に発揮







ir@ asmo1.co.jp



本社: 〒105-0013 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階 TEL. 03-6911-0550 FAX 03-6911-0551

本資料は、2024年3月期 決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2024年6月19日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。